

メインクラス		ウォーリア	Lv.1:		レベル	1
サポートクラス		モンク	Lv.1:	モンク	性別	♂
称号クラス					年齢	??
種族		バステシア：キャンサー			境遇	正体
出自 (効果)	贖罪				目標	奪還

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	素手 (+[CL+3])	至近	0	4	0	0	0	0	0
左手									
頭部	ハット					1			
胸部	クロスアーマー					3			
補助	マント					1			
装身具									
能力値			5	0	5	0	4	7	10
スキル	アームズマスタリー		+1D						
その他									
総計(右)			5	4	5	5	4	7	10
総計(左)									
総計(両)									
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

現在重量： 0			
最大重量： 10	所持金： 260	預金・借金：	

設定を3行で

- ・(たぶん)別の世界にあるエビの王国からきたカニ。奪われた宝を探しているが陸の居心地が良くて長居している。
- ・自分の事を誇り高き一匹のエビだと信じている。恵まれた体躯から繰り出すパンチは自称ジャコ級。
- ・気取ってるが内心ビビリ。近づいて敵をブン殴る反面、防御をガチガチに固めないと安心できない。

命判定 3d6+5／最大火力 4d6+4 (基礎2d6+武器火力4+バッシュ1D+ストロングスタイル+1D)

「陸上で一番威勢のいいエビ」とはこのオレのことさ！」(心なしかポーズをキメているように見える)
「堅苦しいのは苦手な、気軽にロブとでも呼んでくれ」(ハサミを差出し握手を求める)
「なんだなんだ、今日はちょっとアタためてるんじゃないか？」(エビスラングで「顔色悪いね、大丈夫？」の意)
「いくら相手がオレよりデカくなって逃げたりしない、この真っ赤なハサミと神に誓うさ！」(残りの足は震えている)
「たとえこの身がカニだとしても、心はいつだってエビなのさ」(エビスラングでも[意味不明])

どこからどう見てもカニの姿をしているが本人は頑なにエビを名乗る。
かつては通称「海の王国」というエビたちの国の門番兼入国審査官を務めていたが、襲来した強大な敵(文字通り)を前に恐れをなして逃げてしまう。
かくして王国は秘宝を盗まれた大損害を受け、ロブは国外追放の刑罰を受ける。汚名を返上するには盗まれた宝を取り戻すしかない。
敵を追跡する日も走り走り続け、帰道も分からないくらい遠くまで走り、気が付けばエリンディル西方まで流れ着いてきた。
現在は冒険者として活動しながら宝と王国の敵を追っている。人間ならヘビー級の恵まれた肉体を生かした近接戦が得意。
気取り屋だが性根には臆病が隠れているため、防御力を高めることに余念がない。甲羅と防具は硬くて重ければなお良しと思っている。
※かんだ陸での生活が気に入っており、海底より居心地が良いので永住すら考えている。何なら水中呼吸のやり方も忘れそう。(泳ぎのパナルティ受けます)
何エビの王国の秘宝については何も知らない。主からは「真のエビなら見ればわかる」と言われたが……。
※これまでの記述はロブの歪んだ認知に基づいているため、実際に起こったことと若干以上乖離している場合がある。